

# 景観まちづくり学習 レポート

## 福山市立鞆小学校 6年生

誇りと愛着を持つことのできる美しいまちをつくり、育て、次の世代へと伝えていくには、子どもの頃から、身近なまちや良好な景観に対する関心を持ち、一人一人の景観やまちづくりに対する意識を高めることが大切です。

鞆小学校では、今年5～6月に、6年生（1クラス25人）を対象とした「景観まちづくり学習」を行いました。景観につい

ての学習やまち歩き、グループでの話し合いなどを通じて、自分たちのまちについて知り、将来のまちの姿について考えました。

また、地域の方々にも協力いただき、一緒にまち歩きをしながら、歴史的な建造物などについてお話を伺いました。児童と交流しながら、地域の景観やまちづくりについて考える機会にもなりました。

### 第1回 「景観」って何？ 5月30日(木)3.4校時

景観をどのように捉えればよいか、景観についての基本的な学習をしました。児童は、講師を務めた職員の質問に対し、積極的に手を挙げて発表していました。

また、地域で大切にされてきた、鞆町を代表する景観について、写真などを使って紹介しました。



#### 「景観」って何？

けい「景」まち並みやたたずまいなど、眺められる「対象」をあらわす…風景、景色

かん「観」それらを眺める「主体」である 私たちの感覚をあらわす

観る人の心に現れる景色



歴史的まち並み



瀬戸内海 観光網



デバラ干し



お手火神事

#### どんな「景観」がある…？



いろいろな景観を見つけて発表してくれました。

## ■ マインドマップづくり

「鞆町」について連想する言葉を地図のように自由に書き出し、「鞆」のイメージをふくらませました。

20分位の作業時間にもかかわらず、多い班では100個以上の言葉が生まれ、模造紙に収まりきれないくらいになりました。



最初は言葉が出てきませんでしたが、慣れるとどんどん書いています

たくさん書き出した班の発表



完成したマインドマップ。仙酔島、弁天島、いろは丸、海水浴、保命酒、血山焼き、沼名前神社、カ石、ささやき橋、琴、春の海・・・「鞆町」から連想する言葉をたくさん書き出してくれました。

## 第2回 タウンウォッチング 6月6日(木)3, 4校時

待ちに待った「まち歩き」です。

まち歩きの視点（ポイント）やカメラの使い方、注意事項などを説明した後、出発しました。保護者の方もたくさん参加してくださいました。



「町家めぐりコース」と「港めぐりコース」の2つのコースに分かれて散策し、良い景観や悪い景観、面白い景観など、班ごとに写真を撮りながら調査しました。

地域の方々にも協力いただき、一緒に

歩きながら歴史的な建造物などについて説明していただきました。

いつも見慣れた学校周辺にも、新たな発見や気づきがたくさんありました。



地域の方に、知らなかったことをたくさん教えていただきました



鞆の町には緑や花がたくさん

## 第3回 取りまとめ 6月13日(木)3.4校時

まち歩きでの気づきを班ごとに話し合い、撮影した写真などを活用して、調査結果をマップにまとめました。

気付いたことをグループに分けたり、イ

ラストを描いたりするなど、どの班も工夫しながらまとめていました。

最後に、代表の班に発表してもらいました。



班ごとに話し合いながら、思い思いに取りまとめていきます。



まとめたポイントを発表



まち歩きをしながら見つけた良い景観や悪い景観、気づいた点などを書き出して、自由にまとめました。「こだわり」をもって調べて、どの班も上手にまとめていました。

「鞆」のまちをもっと良くするために、考えたことをまとめた班もありました。

## 子どもたちの感想から...

学習の後、今回の景観まちづくり学習を通じて気付いたことや分かったこと、感想などを寄せてくれました。

- **ふだん、なにげなく通っている鞆の町をよく見ると、いい所がたくさんあるんだということを感じました。**
- **いつもとちがう視点から鞆の町を見てみると、いろいろな古い歴史があって、鞆の町全体が博物館みたいだと思いました。**
- **大波止やポニョの浜に行ってみて、「海が結構きたないなあ」と感じました。だから、ポイ捨てなどをなくしていきたいと思いました。**
- **古い家やお城の説明を聞いて、昔の人はすごい知恵を使って暮らしていたことなどが感じられました。まだまだ知らないことがたくさんあると思うので、もっともっと鞆の浦のことを知りたいです。**
- **鞆には昔からの伝統がたくさんあるけど、どのようにしてつくられたのか、鞆の身近な歴史について、もっとくわしく調べてみたいです。**



マップを基に鞆町の町並みの魅力的な地点を紹介する児童

福山市の鞆小6年25人が13日、地元の町並みの魅力を紹介するガイドマップを作った。市が昨年度から希望校で開いている「景観まちづくり学習」の一環。作品は校内に展示し、町内外からの来校者に見てもらった。市都市計画課の職員4人と、地元の観光ガイド2人が講師を務めた。児童は6月初め、6班に分かれ、江戸期の建物が残る町中心部や鞆港周辺を散策した。この日は各班が撮った町家や常夜灯、井戸などの写真を模造紙に貼り、紹介文を記した。続いて代表2班の児童がマップを基に「曲がり角に古い石の道しるべがある」「石畳がきれい」などおススメ地点を説明した。6年浜岡柊亜君(11)は「昔のものが多く残っているのがあらためて分かった。大切に守りたい」と話した。

新聞でも紹介されました  
(中国新聞 2013.6.14)

## 私たちにできること...

景観まちづくり学習を通じて、地域にはすばらしい景観がたくさんあることが分かりました。これらの景観は、地域の方々によって大切にされてきたものでした。

これらの良い景観をこれからも「守り・育てて」いくために、そして、もっと魅力的なまちにするために、新たに「見つけ・磨いて」いくために、私たちにできること...

多くの子どもたちが、そんな気持ちを持ってくれたように思います。これからの子どもたちの活動が、地域のまちづくりにつながっていくことを期待しています。

福山市建設局都市部都市計画課